


キラリ★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ!



電気火災・感電を未然に防止

| 点検対象 | 事務所 | 点検地区 | 様子町 |
|---------|---|------|---|
| キラリポイント | 以前の職場の月次点検時に、キュービクル等の高圧受電設備の点検を終えてダム事務所内の低圧分電盤内の点検を行っている時のことでした。目視点検と合わせて触診を行っている時、あきらかに発熱している配線がありました。 | |  |

事故概要と防止対策

車載の放射温度計を使い、温度測定をすると、ブレーカーと一次側に発熱はほとんど見られませんでした。二次側の端子部と直近の配線部から50℃程の発熱を確認しました。

ドライバーで増し締めを行うと、室温程度まで発熱を抑えることが出来ました。

この時は、設備に影響が出る前に気付くことが出来たため、機器の不具合や損傷が発生することはありませんでしたが、気付かないまま放置すれば、配線被覆が直接出火し火災の原因となったり、長期にわたる発熱と経年劣化で配線被覆が脱落し、露出した充電部が金属部に触れて漏電火災に発展する恐れがありました。

また、金属部に関係者が触れることで感電事故につながる恐れがあったと思います。



変化を見逃すと大変だ!



△分電盤内の様子

こうなる前に発見できて良かった!



△分電盤内の火災事例

技術者からのワンポイントアドバイス

今までに異常が見られなかった箇所も次の点検時にどのような状態になっているか分からないので、過信することなく毎回新たな気持ちで点検を行っています。弊協会での点検にお伺いするまでの間は、お客さまが行う日常の巡視点検が重要です。異臭、異音など何か少しでもいつもと違うと感じましたら、弊協会までお問い合わせください。



八雲事業所
河原 慎也